



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月29日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東・大
 コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)島 正博
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理財務部長 (氏名)南木 隆 TEL (073)471-0511
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	13,857	14.6	3,105	246.0	96	△93.4	△241	—
22年3月期第1四半期	12,094	△35.6	897	△86.3	1,464	△82.7	885	△81.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△7 00	—
22年3月期第1四半期	25 62	24 94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	112,024	86,392	77.1	2,498 30
22年3月期	110,062	87,473	79.5	2,529 67

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 86,381百万円 22年3月期 87,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	20 00	—	10 00	30 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	17 50	—	17 50	35 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期(累計)	24,000	26.4	4,500	—	2,300	—	1,000	—	28 92	—
通期	46,000	24.7	7,000	974.9	5,000	—	2,500	—	72 30	—

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 — 社（ — ）、除外 — 社（ — ）

（注）当四半期連結会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	36,600,000株	22年3月期	36,600,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	2,023,770株	22年3月期	2,023,379株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	34,576,455株	22年3月期1Q	34,578,342株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況の表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における経済の動向は、ギリシャの財政状況に対する懸念を端緒とするユーロ圏金融市場の不透明感が拡大し、世界経済の減速が懸念される状況となりました。わが国経済は堅調なアジア経済に支えられ回復基調が持続しているものの雇用環境は依然として厳しく、円高進行、株価下落といった企業業績にとってのマイナス材料が顕在化するようになりました。

このような経済情勢の中、当社グループの属するニット・アパレル業界では米国の衣料品消費の回復や新興国における個人消費の拡大を受けてニット衣料品生産高が伸張し、世界各地のニット生産市場においてコンピュータ横編機の設備投資需要が高まりました。特に主力の中国市場においては、人件費の高騰と若年労働力の不足を背景に手動式横編機からコンピュータ横編機への転換が加速しました。また、欧州、ロシア向けの生産拠点である中東のトルコにおいても設備投資が拡大しました。これらの結果、当社のコア・ビジネスである横編機事業の売上高は122億35百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

デザインシステム関連事業においても好調なコンピュータ横編機の設備投資の拡大に連動し、売上高は3億78百万円（前年同期比51.4%増）となりました。手袋靴下編機事業の売上高も3億22百万円（前年同期は売上高25百万円）と大幅に回復しました。

これらの結果、当第1四半期全体の売上高は138億57百万円（前年同期比14.6%増）となりました。利益面におきましては、生産台数の増加に伴って売上総利益率が向上したことや、全社的なコスト削減の取組により販売費及び一般管理費比率が低下したことで営業利益は31億5百万円（前年同期比246.0%増）と大幅に増加しました。一方、経常利益は急激な円高の進行により大幅な為替差損が発生したことで96百万円（前年同期比93.4%減）となり、さらに投資有価証券評価損や資産除去債務会計基準適用による影響額などの特別損失を計上したことから、当第1四半期純損益は2億41百万円の純損失（前年同期は8億85百万円の純利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は前期末に比べ19億62百万円増加し、1,120億24百万円となりました。また純資産の額から少数株主持分を控除した自己資本の額は、863億81百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて2.4ポイント低下し77.1%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動においては売上債権の増加等はありませんでしたが、仕入債務の増加等により9億20百万円の資金の増加（前年同期は24億10百万円の増加）となりました。投資活動においては有価証券の売却等により4億87百万円の資金の増加（前年同期は7億69百万円の減少）となりました。また、財務活動においては配当金の支払等により4億72百万円の資金の減少（前年同期は39億33百万円の減少）となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は166億70百万円となり、前期末に比べて3億53百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績の見通しにつきましては、全般に好調なニット生産状況は当面持続するものと見込まれ、世界の市場において積極的な販売戦略を展開することで予定通りの売上高、営業利益は達成できる見通しです。しかしながら、当第1四半期において急激に進行した円高局面は当面回復を見込めないことから、為替差損を業績予想に織り込み、平成23年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想を修正致します。なお、個別業績予想についても同様であります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

海外連結子会社は、税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益がそれぞれ2百万円減少し、税金等調整前四半期純損失は127百万円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は178百万円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,800	16,961
受取手形及び売掛金	36,828	33,655
有価証券	800	1,400
たな卸資産	15,565	16,051
その他	3,782	3,661
貸倒引当金	△2,669	△2,871
流動資産合計	72,108	68,859
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,384	6,481
土地	10,997	10,992
その他(純額)	3,511	3,621
有形固定資産合計	20,893	21,095
無形固定資産		
のれん	6,381	6,763
その他	125	133
無形固定資産合計	6,507	6,897
投資その他の資産		
投資有価証券	6,938	7,481
その他	7,822	7,981
貸倒引当金	△2,245	△2,253
投資その他の資産合計	12,515	13,209
固定資産合計	39,916	41,202
資産合計	112,024	110,062
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,154	5,804
短期借入金	1,699	1,839
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,000
1年内償還予定の新株予約権付社債	1,940	1,941
未払法人税等	310	236
賞与引当金	1,308	707
債務保証損失引当金	396	407
その他	4,299	4,139
流動負債合計	19,109	16,076
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
退職給付引当金	1,502	1,541
役員退職慰労引当金	1,052	1,144
その他	968	827
固定負債合計	6,523	6,513
負債合計	25,632	22,589

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	21,724
利益剰余金	67,828	68,415
自己株式	△6,399	△6,398
株主資本合計	98,012	98,601
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△990	△1,061
土地再評価差額金	△7,433	△7,433
為替換算調整勘定	△3,206	△2,639
評価・換算差額等合計	△11,631	△11,133
少数株主持分	10	5
純資産合計	86,392	87,473
負債純資産合計	112,024	110,062

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	12,094	13,857
売上原価	7,558	7,347
売上総利益	4,535	6,510
販売費及び一般管理費	3,638	3,405
営業利益	897	3,105
営業外収益		
受取利息	169	107
受取配当金	41	57
為替差益	395	—
その他	48	62
営業外収益合計	654	227
営業外費用		
支払利息	70	14
為替差損	—	3,181
その他	16	39
営業外費用合計	87	3,235
経常利益	1,464	96
特別利益		
貸倒引当金戻入益	—	134
特別利益合計	—	134
特別損失		
投資有価証券評価損	—	656
関係会社出資金評価損	—	30
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	125
特別損失合計	—	812
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,464	△581
法人税、住民税及び事業税	870	290
法人税等調整額	△291	△630
法人税等合計	579	△340
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△241
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	885	△241

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,464	△581
減価償却費	478	386
のれん償却額	128	99
貸倒引当金の増減額(△は減少)	200	△139
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	46	△10
賞与引当金の増減額(△は減少)	540	605
受取利息及び受取配当金	△211	△165
支払利息	70	14
為替差損益(△は益)	48	1,056
有形固定資産売却損益(△は益)	1	1
投資有価証券評価損益(△は益)	—	656
関係会社出資金評価損	—	30
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	125
売上債権の増減額(△は増加)	△2,017	△4,379
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,154	166
仕入債務の増減額(△は減少)	△252	2,999
その他	△439	91
小計	2,213	958
利息及び配当金の受取額	225	175
利息の支払額	△55	△8
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	27	△205
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,410	920
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12	△824
定期預金の払戻による収入	43	839
有価証券の取得による支出	△1,099	△99
有価証券の売却による収入	1,099	699
有形固定資産の取得による支出	△849	△111
有形固定資産の売却による収入	103	1
投資有価証券の取得による支出	△137	△2
投資有価証券の売却による収入	6	6
その他	79	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△769	487
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,509	△143
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△425	△287
その他	1	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,933	△472
現金及び現金同等物に係る換算差額	△154	△581
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,445	353
現金及び現金同等物の期首残高	19,310	16,317
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,864	16,670

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位：百万円)

	横編機事業	デザインシステム関連事業	手袋靴下編機事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	10,754	249	25	1,063	12,094	—	12,094
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,754	249	25	1,063	12,094	—	12,094
営業利益又は営業損失(△)	2,232	△40	△15	△158	2,017	(1,120)	897

(注) 1 事業の区分は、売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な製品等

- (1) 横編機事業 ……コンピュータ横編機、セミジャカード横編機
 (2) デザインシステム関連事業 ……コンピュータデザインシステム、ニットCADシステム、アパレルCAD/CAMシステム
 (3) 手袋靴下編機事業 ……シームレス手袋・靴下編機
 (4) その他事業 ……編機・デザインシステム用部品、ニット製品製造卸売業、修理、保守、ホテル業

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位：百万円)

	日本	東南アジア	欧州	北米	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,514	7,484	1,823	271	12,094	—	12,094
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,415	39	0	—	6,455	(6,455)	—
計	8,929	7,523	1,824	271	18,549	(6,455)	12,094
営業利益又は営業損失(△)	1,725	531	79	△14	2,322	(1,425)	897

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) 欧州……………英国・イタリア・スペイン
 (2) 東南アジア……中国
 (3) 北米……………米国

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:百万円)

	欧州	東南アジア	その他の地域	計
I 海外売上高	1,828	8,907	672	11,408
II 連結売上高	—	—	—	12,094
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	15.1%	73.7%	5.5%	94.3%

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……………イタリア・英国

(2) 東南アジア……………中国・韓国

(3) その他の地域……………ブラジル・米国・トルコ・シリア

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に営業本部を置き、取り扱う製品・サービスごとに国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は製品・サービス別セグメントから構成されており、「横編機事業」、「デザインシステム関連事業」、「手袋靴下編機事業」の3つを報告セグメントとしております。

「横編機事業」は、コンピュータ横編機・セミジャカード横編機の製造販売をしております。「デザインシステム関連事業」は、コンピュータデザインシステム・アパレルCAD/CAMシステム等の製造販売をしております。「手袋靴下編機事業」は、シームレス手袋・靴下編機の製造販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,235	378	322	12,936	921	13,857
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,235	378	322	12,936	921	13,857
セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,252	46	84	4,382	△89	4,293

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利 益	金 額
報告セグメント計	4,382
「その他」の区分の利益	△89
全社費用（注）	△1,188
四半期連結損益計算書の営業利益	3,105

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	生産高	前年同四半期比
横編機事業	10,513	139.7%
デザインシステム関連事業	333	131.9%
手袋靴下編機事業	389	3,229.6%
合計	11,236	144.2%

(注) 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
横編機事業	11,691	155.7%	6,653	152.6%
デザインシステム関連事業	356	124.7%	219	150.6%
手袋靴下編機事業	354	1,125.8%	174	936.4%
合計	12,401	158.5%	7,047	155.8%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期比
横編機事業	12,235	113.8%
デザインシステム関連事業	378	151.4%
手袋靴下編機事業	322	1,240.3%
その他事業	921	86.6%
合計	13,857	114.6%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。